

令和5年度 杜陵高等学校教職員 働き方改革アクションプラン【本校・定時制】

～「熱意」・「誠意」・「創意」で明るく健康的な職場作り～

創立100周年
記念キャラクター
とりよんちゃん



杜陵高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

[定量的現状]

- 時間外在校等時間の1カ月の全体の平均を45時間以内とする。また、年360時間を超える教職員をゼロにする。(R4平均45時間超3人、年次取得平均15.3日)
- 職員の学校評価アンケートで「職員が自由に発言し、連携協力しながら課題解決に取り組み、活気がある。」「授業の内容や指導方法が工夫され、充実した信頼できるものである。」の回答が4点満点中3.2点以上の平均である。
- 夏季休暇の取得→100% 年次休暇の取得→1日単位で5日以上

[定性的現状]

- 1・2部担当の教員と3部担当の教員が併存しており多様な働き方となっている。
- 外部機関とも連携しながら、多様な生徒一人一人に合わせたきめ細やかな教育を時間をかけて行っているため、教職員の時間的精神的な負担感が大きい。
- 令和4年度、時間外在校等時間の月平均80時間を越える教員は年間0名であった。積極的に定時退庁を心がけている教職員が多い。

2 目標・目指す姿

<R5年度目標>

- ◆「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に掲げるR5年度の目標を達成します。
- ◆本校に勤務する先生方のモチベーションを高めます。

<目指す姿>

- 教職員がそれぞれのライフワークバランスを意識して職務に取り組む一方で、本校の果たすべき役割を自覚し、自らの責務を果たしている。
- 教職員の目配り、気配りの行き届いたユニバーサル教育の実践によって、生徒個々の能力を引き出し、生徒は明るく学校生活を楽しんでいる。
- 管理職が教職員の勤務状況や健康状態を把握して、個に応じた適切に対応することで、良好な職場環境を築いている。
- 本校に勤務する教職員が、自分の得意分野を活かしながら学び続け、生徒に好影響を与える人間性を育むことによって、学校全体がよい空気に包まれている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- 働き方改革プランの時間外在校等時間縮減の取組みを確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- 生徒対応や保護者対応の仕方について研修し、心の健康が維持できるように改善を継続します。
- 管理職が、教職員の健康診断の結果や心身の健康状態を把握し、配慮が必要な場合は積極的に対処します。
- 時間外在校等時間が35時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、面談を実施します。
- 管理職が教職員をよく観察し、適宜適切に声をかけます。
- 職員相互の理解と心遣いに基づいた風通しのよい明るい職員室文化を醸成し、メンタルヘルスを心掛けます。

○ 学校における業務改善の推進

- 日常的にこまめな情報交換を行うことによって、定例職員会議等の会議が効率よく行われるように努めます。
- 会議の終了時刻を決めてから会議に臨みます。
- 各教職員が、軽減・廃止できる業務について積極的に提案し、実現に結びつけます。
- 管理職が業務のスクラップについてアイデアを出します。
- 校務分掌業務や教材データの共有化を推進することにより、業務の負担を減らし効率化を進めます。
- 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定しています。(安全衛生委員会等)
- ホームページやメールを積極的に活用し、各種連絡事項の周知をはかります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- 1・2部と3部に所属する教職員が協力する業務と独立する業務とを明確にして負担軽減を図ります。
- SCやSSW、児童相談所、福祉施設など外部と連携して生徒を支援する体制を構築します。
- 起案文書の簡略化共有化を進め、文書処理業務の負担を減らします。
- 働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるようホームページ等で適宜周知します。
- 教員の仕事ではないものを整理し、保護者や外部機関に任せられる業務は積極的に任せます。
- 各教職員が時間を管理し、時間をかけずに効率を上げる工夫を進める。

令和5年5月15日 杜陵高等学校長 三田正巳

(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】

目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。
- | | | |
|-------------------|-------|-----|
| ・令和3年度実績 | 県立学校計 | 71名 |
| ・令和4年度実績(第3四半期まで) | 県立学校計 | 21名 |

- (2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり縮減する。

| 時間外 在校等時間 | 取組期間 |
|--------------|-------------|
| | 令和5(2023)年度 |
| 月45時間超 | ゼロ |
| 年360時間超 | |

目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。